

第1部

世界遺産登録までのあゆみ



第1部 世界遺産登録までのあゆみ

1 取組の概要

1) 世界遺産登録運動のはじまり（1997年～）

ユネスコの世界遺産条約に日本が批准した1992年以降、姫路城や法隆寺など有名な文化財が毎年のように世界遺産に登録され、各地で地域の宝を世界遺産にという動きが活発化してきた。同種の鉱山遺跡である石見銀山（2001年暫定一覧表記載）も世界遺産を見据えた取組を進めており、佐渡金銀山に関しても一部で話題に上っていた。

1997（平成9）年9月28日、相川町役場に佐渡金銀山の研究者、佐渡選出の県議会議員、相川町長、観光施設「史跡 佐渡金山」運営会社社長など10名程の関係者が集まり勉強会を開催した。席上、佐渡金銀山の世界遺産登録の実現には、県が中心となる取組が不可欠という認識で一致した。これを受けて佐渡市町村会（1市7町2村）では、11月10日に国への働きかけを求める要望書を新潟県へ提出したが、県は島内での調査体制の確立や検討委員会の設置など地元の意識の高まりが条件として、佐渡の取組を見守る姿勢を示した。

翌年7月には佐渡市町村会が中心となり、世界文化遺産としての価値を検討する委員会を発足させるための準備会（「佐渡金銀山遺跡調査検討準備会」）が設置された。しかし、構成資産の有無などで世界遺産登録への想いには市町村間で温度差があり、具体的な取組が進まない状況が続いていた。

市町村会の動きに呼応して、1997（平成9）年11月24日に地元佐渡の各分野の研究者や行政職員などを中心とした「世界文化遺産を考える会」が発足した。鉱山、文化・社会、街道・港湾の3部会からなり、佐渡金銀山関連の調査研究のほか島民の機運盛り上げなど住民側から登録運動を支援した。また、2003（平成15）年1月には、相川町の住民を中心とした「佐渡金銀山友の会」も発足したが、2つの会は2007（平成19）年3月に統合されて「佐渡を世界遺産にする会」（2016年4月に一般社団法人に移行）となった。その後、本土側と首都圏に佐渡出身者を中心とした「佐渡を世界遺産にする新潟の会」（2012年発足）と「佐渡を世界遺産にする首都圏の会」（2014年発足）が相次いで発足し、3会が連携して様々な普及啓発活動などにも取り組んできた。



県への要望
（1997年11月11日 新潟日報）

2) 推進体制の整備（2004年～）

世界遺産への取組は、2004（平成16）年3月1日の合併による佐渡市の誕生で大きく前進することになる。市からの強い働きかけもあり、2006（平成18）年度に県が教育委員会に担当職員1名を配置し、翌2007（平成19）年度には県と市が教育委員会に専属部署（県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室：4名、市教育委員会世界遺産・文化振興課：6名）を新設し、共同で取り組む体制が整った。

その後、暫定一覧表への記載を経て学術委員会の設置（2010年度）、構成資産の文化財指定や推薦書案作成の本格化（2014年度）、県民会議設立（2014年）など業務量の増加を契機に担当職員を増やしながら体制強化を図り、最終的には県市共に12名体制で取組を推進した。この間、2014（平成26）年からは国の要請に応じて文化庁（記念物課）へ県職員1名を研修生として派遣し、国・県・市との情報共有や連絡調整に当たらせた。

また、県議会及び市議会においても超党派（全員参加）の登録推進議員連盟が相次いで設立（県：2007年、市：2008年）され、2013（平成25）年に設立された国会議員連盟とも連携しながら勉強会や視察などを通して知見を広め、登録実現に向けた県民・島民に対する啓発や国等への要請活動などを行った。

このほか2014（平成26）年には、官民の力を結集して県民運動を展開するための連合組織である「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」が発足した（発足時678団体）。最終的に1,400を超える団体が加盟し、毎年の総会で価値の周知や将来への継承などを決議し、知事・市長をはじめ政財界の代表による国への要望活動を行ってきた。2019（平成31）年に始めた推薦実現を求める署名活動では、翌年1月までに県内外から約50万筆の署名が集まり要望活動に併せて国へ提出した。



「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」発足（2014年）



署名簿提出（2020年）

3) 公募への提案と暫定一覧表への記載（2006年～）

このような状況の中、2006（平成18）年9月に文化庁が世界遺産暫定一覧表への記載候補を初めて公募し、全国から24件の資産がこれに応じた。佐渡も「金と銀の島、佐渡－鉱山とその文化－」として提案書を提出したが、翌年1月の世界文化遺産特別委員会で「富岡製糸場と絹産業遺産群」、「富士山」など4件が選定され、佐渡を含む20件はそれぞれ課題を示されて継続審議となった。

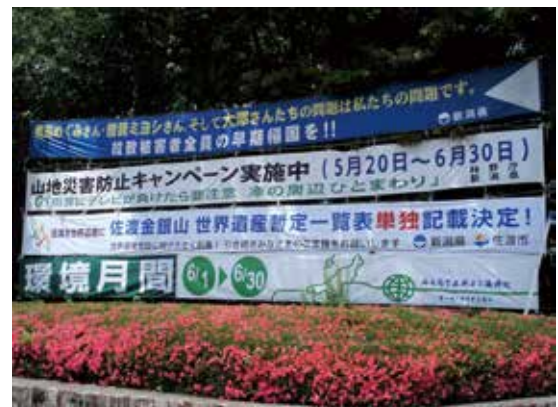
佐渡に示された課題は、①石見銀山遺跡との綿密な比較研究（主題の観点）、②現在に継承されている集落・農地等の土地利用の実態を表す構成資産の選択についての検討（構成資産の観点）、③文物交流の面で世界に与えた影響の観点からの再考（登録基準の観点）の3点であった。

県と市では専門家の意見等を踏まえて提案書の修正を行い、2007（平成19）年度の公募に再提案した結果、2008（平成20）年9月に「石見銀山とその文化的景観」との拡大・統合を条件に暫定一覧表に記載すべき資産として選定された。しかし、石見銀山は前年すでに世界遺産に登録されていたこともあり、島根県・大田市から同意を得るのは難しい状況であった。

その後、島根県との調整を見守りながら県・市では佐渡金銀山の調査研究を進め、調査結果や検討状況を随時文化庁に報告して情報共有を図った。2010（平成22）年6月の国文化審議会において、調査研究の進展により単独でも世界遺産としての価値が十分に説明できる可能性が高いと評価され、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の名称で世界遺産暫定一覧表への記載が決定した。



提案書（2006年版・2007年版）



暫定一覧表記載決定横断幕（2008年）

4) 学術委員会設置から推薦書原案の作成（2010年～）

暫定一覧表への記載決定を受け、2010（平成22）年9月に推薦書原案の作成に係る学識経験者による「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」を設置した。会議は2024（令和6）年の推薦決定までに計30回開催し、佐渡金銀山の普遍的価値や構成資産などについて審議・検討を行った。

また、この頃からユネスコ世界遺産委員会や国際産業遺産保存委員会（TICCIH）などの国際会議に参加し、海外の専門家に佐渡金銀山の価値をアピールするとともに、関係者との意見交換や比較対象鉱山の現地調査を実施した。この取り組みは、併せて海外専門家との人脈の形成も目的の1つとしており、佐渡金銀山への招聘（現地視察・指導）や国際専門家会議などを通じて、その後の普遍的価値や構成資産の整理に重要な役割を果たした。

これらの成果を盛り込んで推薦書案を作成したが、国への提出は2014（平成26）年3月に素案を提出して予備審査を受けた後、翌年からは推薦候補選定を目指して原案を毎年のように提出してきた。この間、5回選外となりその都度示された課題に対応して原案の改訂を行ったが、特に大きな改訂は2018年版（原案④）の構成資産、対象時期、評価基準の変更と2020年版（原案⑤）の資産名称、構成資産、対象時期、評価基準の変更であった。

一方、世界遺産登録の前提である構成資産の国内法（文化財保護法）による保護については、1994（平成6）年に江戸時代の主要な資産（「道遊の割戸」「佐渡奉行所跡」など7か所）が「佐渡金山遺跡」として国史跡に指定されていたが、構成資産候補と考えていた資産の多くは未指定であった。このため、新たに追加指定を目指して調査・研究を行いながら、準備が整ったものから史跡・重要文化財・重要文化的景観へ申請し指定・選定を進めた。



第26回 学術委員会・国際専門家会議⑪（2019年）



推薦書原案⑥（2021年版）

5) 推薦候補選定から登録決定（2021年～）

2021（令和3）年12月28日、国文化審議会は2021年度の国内推薦候補に「佐渡島の金山」を選定するよう答申した。慣例では答申でユネスコへの推薦が事実上決定したことになるが、文化庁の発表には「国内推薦候補の選定は推薦の決定ではなく、今後、政府内で総合的な検討を行う」とのコメントが付された。

選定基準の見直しなどにより諮問自体が夏にずれ込み、結果的に答申が年末となったことで暫定版は提出されなかった。

2022（令和4）年2月1日の閣議で推薦が了解され、同日付でユネスコ世界遺産センターへ推薦書が提出された。

地元では、夏から秋頃に予定されるイコモスによる現地調査の準備に取りかかっていたが、推薦書の記述内容に不備があったとの理由で、通常は、ユネスコ世界遺産センターからイコモスに送付される推薦書が送付されていないことが7月28日に判明した。政府は2023（令和5）年の登録を断念し、県・市とともに推薦書を修正して2022（令和4）年9月29日に暫定版を提出し、2023（令和5）年1月19日付で正式に再提出した。

イコモスによる現地調査は2023（令和5）年8月24日から30日までの7日間実施され、文化庁と国内専門家および県・市担当職員が同行し説明を行った。

翌2024（令和6）年6月6日、イコモス勧告では世界遺産としての価値が評価された一方、資産や緩衝地帯の範囲の見直しなど3点を追加情報として求められ、4段階ある評価のうち上から2番目の「情報照会」となった。国と県・市で検討した結果、すべての勧告内容を受け入れて対応することとし、ユネスコ世界遺産委員会までにイコモス及び世界遺産委員国に状況を報告した。

第46回世界遺産委員会は、同年7月21日から31日にインドのニューデリーで開催され、「佐渡島の金山」の審議は27日に行われ全会一致で「登録」が決定した。



推薦書提出（2022年）



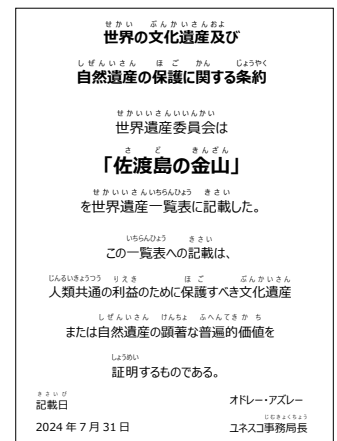
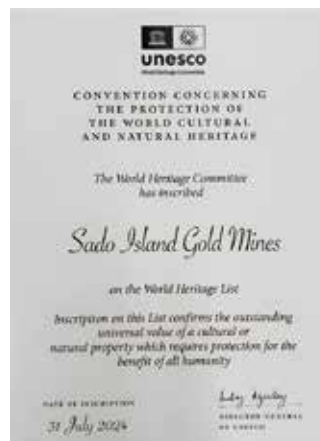
登録決定バナー掲示 / 県庁内（2024年）



第46回世界遺産委員会（2024年インド/ニューデリー）



委員国からの祝意



認定書展示（レプリカ）

6) 今後の保存管理体制（2025年～）

2016（平成28）年に策定した「佐渡金銀山」保存・活用行動計画は、2024（令和6）年を終期としており、登録を契機に同年11月30日をもって終了とし、あわせて「佐渡金銀山」保存・活用行動計画推進会議を解散した。登録後は、ユネスコ世界遺産委員会への報告事項への対応等も加わることから、2024（令和6）年12月1日に「佐渡島の金山」世界遺産会議を設置するとともに、「佐渡島の金山」包括的保存管理計画へ移行した。引き続き、世界遺産となった「佐渡島の金山」の資産価値の継承にむけ、保存・活用を推進していく。

主な取組の経緯（概要）

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査
1994 (H6)	3/31		★「史跡佐渡金山遺跡保存管理計画策定書」刊行
	5/24		★ 史跡「佐渡金山遺跡」指定（7か所）
	9/28		★「史跡佐渡金山遺跡保存管理計画」策定
1997 (H9)	9/28		
	11/10		
	11/24		
1998 (H10)	7/30		
2003 (H15)	1/		
2004 (H16)	3/1		
	4/1		
2005 (H17)	7/2		
	11/19		
2006 (H18)	4/1		
	6/2		
	9/15	□国文化審議会で暫定一覧表記載候補の公募を決定（11/30 締切）	
	10/30		
	11/29		◇提案書① 提出「金と銀の島、佐渡-鉱山とその文化-」
2007 (H19)	1/23	□国文化審議会で継続審議（佐渡他20件）	
	2/		
	3/24		
	4/1		
	6/27		
	7/3~12		△産業遺産調査（イギリス・ドイツ）
	9/6		△産業遺産調査（富岡製糸場）
	9/19~22		△スチュアート・スミス氏 佐渡視察・指導
	9/23		
12/8			
12/19		◇提案書② 提出「金と銀の島、佐渡-鉱山とその文化-」	
2008 (H20)	1/16		
	2/		
	2/21~4/19		
	6/17		
	7/27~30		△国内鉱山調査（石見銀山）
	9/26	□国文化審議会で暫定一覧表記載決定 ※石見銀山との拡大・統合が条件	
11/3			
2009 (H21)	3/20		
	4/1		
	4/26		△県内鉱山調査（上田銀山）
	7/23		★史跡「佐渡金山遺跡」追加指定（吹上海岸石切場跡）
	7/26		△国内鉱山調査（多田銀銅山）
	7/28		
	8/3~6		△クリストファー・ヤング氏 佐渡視察・指導
	8/27~9/7		△「TICCIH 第14回国際会議」（ドイツ/フライベルグ）※鉱山調査
	9/15~18		△国内鉱山調査（院内銀山・延沢銀山・半田銀山ほか）
10/30~11/2		△国内鉱山調査（石見銀山）	
12/20		△レギーネ・マティアス氏 佐渡視察・指導	
2010 (H22)	2/3		
	2/22		★史跡「佐渡金山遺跡」追加指定（南沢疎水道・近代遺跡）
	3/31		
	4/1		★「佐渡市景観条例・景観計画」施行

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲県市体制 / ●県民会議 / ○民間団体 ☆議員連盟 / ◎要望・要請	▼講演会・シンポジウム等 / ▽コンクール・展覧会
▲旧相川町：世界遺産登録に向けた勉強会 開催	
▲市：佐渡市町村会から県へ「要望書」提出（国への働きかけと県での事業推進）	
○「世界文化遺産を考える会」発足 会長：田中 圭一（元筑波大学教授）	
▲市：「佐渡金銀山遺跡調査検討準備会」設置 会長：山本 仁（佐渡博物館長）	
○「佐渡金銀山友の会」発足 会長：弾正 俊一（相川町長）	
▲市：市町村合併で佐渡市誕生	
▲市：教委生涯学習課に「佐渡金銀山室」設置	
	▼シンポジウム『生産遺跡から探る「モノづくり」の歴史』（佐渡） 相川開発総合センター
	▼佐渡文化遺産講演会 第1回（佐渡）「世界遺産と佐渡の文化」 佐渡島開発総合センター
▲県：文化行政課に担当職員1名 配置	
	▼佐渡文化遺産講演会 第2回（佐渡）「鉱山絵巻に見る佐渡金銀山」 真野ふるさと会館
	▼世界遺産シンポジウム「佐渡島の金銀山と歴史と文化」（佐渡） アミューズメント佐渡
○「佐渡金銀山古道を守る会」発足 会長：駄栗毛 寛	
○「佐渡を世界遺産にする会」発足 会長：田中 圭一 ※「考える会」と「友の会」を統合	▽市：ロゴマーク公募（2～3月）
▲県：文化行政課に世界遺産登録推進室 設置	
▲市：教委世界遺産・文化振興課 設置	
☆新潟県「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟 設立 会長：中野 洸	
	▼世界遺産シンポジウム「日本の近代化を支えた佐渡鉱山」（佐渡） アミューズメント佐渡
	▼世界遺産講演会「日本を支えた佐渡鉱山」（県内） 県立生涯学習センター
◎文部科学大臣等への要請	
○「鶴子銀山へ続く道を歩こう」発足 会長：佐々木 弘喜	
	▽「金GOLD 黄金の国ジパングと佐渡金銀山展」 県立万代島美術館
☆「佐渡市世界遺産登録推進議員連盟」設立 会長：金子 克己	
	▼世界遺産講演会「金と銀の島 佐渡～鉱山とその文化～」(県内) 県立生涯学習センター
	▼シンポジウム「佐渡金銀山を世界遺産に」(県内) 朱鷺メッセ
▲市：総務部に世界遺産推進課 設置	
▲市：県へ職員1名派遣(H21～R6)	
◎文部科学大臣への要望	
	▼国際シンポジウム「絵巻から見える佐渡金銀山」(県内) 朱鷺メッセ
▲市：「佐渡市世界遺産登録推進本部」設置	
	▽広報誌「佐渡金銀山だより」創刊
▲市：部制廃止（世界遺産推進課）	

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査
2010 (H22)	6/14	□国審議会で暫定一覧表記載決定 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」で単独記載	
	6/27		
	8/8~22		△「TICCIH・ICOHTEC合同会議」(フィンランド/タンペレ) ※鉱山関係セッションで「佐渡」発表、鉱山調査
	9/22・23		△グスタボ・アローズ氏(イコモス会長) 佐渡視察・指導
	9/24		◆第1回 学術委員会 「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」設置
	10/		
	10/17		△マイルズ・オグリソープ氏(ヒストリック・スコットランド政府責任者)佐渡視察・指導
	10/25~28		△国内鉱山調査(串木野金山・山ヶ野金山)
	11/22	「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」暫定一覧表に記載 (ユネスコ世界遺産センター)	
11/27			
2011 (H23)	1/12		
	1/20		◆第2回 学術委員会 ★史跡「佐渡金山遺跡」佐渡市管理団体指定
	2/7		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(鶴子銀山跡)、「佐渡金銀山遺跡」に名称変更
	3/4~6		△国内鉱山調査(生野銀山)
	3/6		
	3/31		★「佐渡市歴史文化基本構想」策定 ★西三川地区の文化的景観保存計画策定
	4/1		
	5/25		◆第3回 学術委員会
	5/29・30		△松浦 晃一郎氏(前ユネスコ事務局長) 佐渡視察・指導
	6/18~7/7	■第35回「世界遺産委員会」(参加) (フランス/パリ) ※「小笠原」「平泉」登録	△北欧鉱山調査(ノルウェー・フィンランド)
	6/27		★重要文化財「新潟県佐渡奉行所跡出土品」一括 指定
	7/16		
	8/2・3		◆第4回 学術委員会・現地視察
	9/14~16		△国内鉱山調査(金鷄金山、湯之奥金山)
	9/21		★重要文化的景観「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」選定
11/3~7		△国内鉱山調査(石見銀山)	
11/5		◆第5回 学術委員会	
11/19			
12/14~20		△台湾鉱山調査(台湾)	
2012 (H24)	1/24		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(片辺・鹿野浦海岸石切場跡)
	1/30・31		△国内産業遺産調査(三池炭鉱・三重津軍港ほか)
	1/31		△クリストファー・ヤング氏、稲葉 信子氏 指導(福岡市)
	2/14~17		△「日伊文化財保護事業 研究会(佐渡WS)」(佐渡市・ネスパス) ※佐渡視察、イタリア専門家との意見交換
	3/16~18		△パトリック・マーチン氏、バリー・ギャンプル氏 佐渡視察・指導
	3/19		◆第6回 学術委員会・国際専門家会議①
	3/20		
	3/		★「史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画」第1期 策定
	5/14・15		△国内鉱山調査(石見銀山)
	6/2		
	6/20		◆第7回 学術委員会
	8/17~19		△クリストファー・ヤング氏 佐渡視察・指導
	8/21・22		◆第8回 学術委員会・国際専門家会議②
	9/10~12		△国際会議「世界遺産とコミュニティ」(韓国/扶余) ※ 「佐渡金銀山」発表
	10/13		
	10/15		◆第9回 学術委員会・国際専門家会議③
	11/4~11		△「TICCIH2012総会」(台湾/台北) ※「佐渡金銀山」発表
	11/25		
12/10~23		△インド鉱山調査(南インド/カルナータ州)	
12/28		★重要文化財「旧佐渡鉱山採鉱施設」指定	

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲ 県市体制 / ● 県民会議 / ○ 民間団体 ☆ 議員連盟 / ◎ 要望・要請	▼ 講演会・シンポジウム等 / ▽ コンクール・展覧会
	▼シンポジウム「佐渡金銀山の魅力と世界遺産登録に向けて」(佐渡) 両津文化会館
○「笹川の景観を守る会」発足 会長：金子 一雄	
	▼世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」(佐渡) 相川開発総合センター
	▼「佐渡金銀山 世界遺産講演会」 「佐渡鉱山に産出した金銀鉱石の特徴」(県内) 朱鷺メッセ
▲ 県 ：「佐渡金銀山世界遺産登録推進連絡会議」設置 (庁内)	
	▼佐渡世界遺産フォーラム「佐渡ジオパークと世界遺産教育」(佐渡) 金井能楽堂
▲ 市 ：世界遺産推進課に教委文化財室統合、「世界遺産推進基金」設置	
	▼佐渡金銀山講演会「佐渡金銀山の世界的価値」(首都圏) 表参道・新潟館ネスパス
	▼佐渡文化遺産講演会「平泉に学ぶ世界遺産への道」(佐渡) 真野ふるさと会館
○「佐渡を世界遺産にする新潟の会」発足 会長：池田哲夫	▼世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」(県内) 朱鷺メッセ
	▼佐渡金銀山世界遺産講演会「佐渡金銀山に残る貴重な産業遺産群」ほか(首都圏) 東京国立博物館
	▼佐渡世界遺産国際シンポジウム「歴史資料から見る佐渡金銀山」(佐渡) アミューズメント佐渡
	▼佐渡金銀山世界遺産フォーラム 「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」(県内) 朱鷺メッセ
	▽「佐渡金銀山ポスターコンクール2012」 応募期間：2012.7～9、応募数70点

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係	
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査	
2013 (H25)	3/8		◆第10回 学術委員会	
	3/27		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(上相川地区)	
	5/13			
	6/2			
	6/16~26	■第37回「世界遺産委員会」(参加) (カンボジア/プノンペン) ※「富士山」登録		
	7/7			
	7/10~12		△郭 旃(グオ・チャン)氏、李 惠恩(イ・ヘウン)氏 佐渡視察・指導	
	7/13・14		◆第11回 学術委員会・国際専門家会議④	
	8/19~30		△ヨーロッパ鉱山調査(フランス・ドイツ・ベルギー・ノルウェー)	
	9/10~15		△第8回「BUMA総会」(奈良) ※「佐渡金銀山」発表	
	10/6			
	11/5~7		△クリストファー・ヤング氏、シンシア・ダニング氏、郭 旃(グオ・チャン)氏 佐渡視察・指導	
	11/8・9		◆第12回 学術委員会・国際専門家会議⑤	
11/10				
2014 (H26)	2/9			
	2/17~21		△国内鉱山調査(石見銀山)	
	3/3		◆第13回 学術委員会	
	3/28		◇推薦書素案 提出「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	
	4/1			
	6/2~4		△クリストファー・ヤング氏 石見銀山視察・指導	
	6/14~24	■第38回「世界遺産委員会」(参加) (カタール/ドーハ) ※「富岡製糸場」登録		
	7/10	□国審議会 ※「国立西洋美術館」推薦(フランス推薦枠) 素案に対する課題: 7項目		
	7/16		△マイルズ・オグリソープ氏 推薦書案指導	
	8/31			
	9/9~12		△オリンピック・ニリオ氏 佐渡視察・指導	
	9/23			
	9/27			
	10/6		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(上寺町地区)	
	10/11・12		◆第14回 学術委員会・国際専門家会議⑥ ※新穂銀山除外を決定	
	10/19			
	10/22			
11/2				
11/4				
11/9~14		△第18回「ICOMOS本部総会」・学術シンポジウム(イタリア/フィレンツェ) ※専門家との情報交換		
11/13				
12/21				
2015 (H27)	2/1			
	2/16		◆第15回 学術委員会	
	3/6			
	3/10		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(相川金銀山跡)	
	3/25		◇推薦書原案① [2015版] 提出「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	
	5/10			
	5/20			
	6/20			
6/26				
6/28~7/8	■第39回「世界遺産委員会」(参加) (ドイツ/ボン) ※「明治日本」登録		△鉱山調査(ドイツ・オランダ)	

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲県市体制 / ●県民会議 / ○民間団体 ☆議員連盟 / ◎要望・要請	▼講演会・シンポジウム等 / ▽コンクール・展覧会
☆「佐渡金銀山」世界遺産登録推進議員連盟(国議連1) 設立 会長： 水落 敏栄	▼佐渡金銀山世界遺産講演会 「世界遺産を核とした地域づくりに向けて」(県内) 上越文化会館
	▼佐渡金銀山世界遺産講演会 「佐渡金銀山の世界遺産登録に向けて」(首都圏) スクワール麹町
	▼佐渡金銀山シンポジウム「日本の金銀山と佐渡金銀山」(佐渡) トキのむら元気館
	▼世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山遺跡の世界遺産登録を目指して」(県内) 朱鷺メッセ
●「県民会議」発足セレモニー(会員数789団体)	
▲県：文化庁へ職員1名派遣(研修生) ▲市：県へ職員1名派遣	
	▼平成26年度 世界遺産連続講演会 第1回「金の道・北国街道サミット」 (県内) 上越文化会館
○「佐渡を世界遺産にする首都圏の会」発足 会長：坂田 正通	▼平成26年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①(佐渡) 羽茂地区公民館
	▼佐渡金銀山世界遺産フォーラム「甞る鉱山都市の記憶」(県内) 新潟グランドホテル
	▼平成26年度 佐渡金銀山地域巡回講演会②(佐渡) 佐渡島開発総合センター
	▼シンポジウム「ワンダーアイランド佐渡」(佐渡) アミューズメント佐渡
	▼平成26年度 佐渡金銀山地域巡回講演会③(佐渡) 金井コミュニティセンター
◎文部科学大臣等への要望	▼平成26年度 世界遺産連続講演会 第2回「世界遺産候補 佐渡金銀山の魅力」(県内) アオーレ長岡
	▼平成26年度 世界遺産連続講演会 第3回「世界遺産と文化の力」(県内) 朱鷺メッセ
	▽「佐渡金銀山ポスターコンクール2014」 募集期間：2014.10～2015.2、応募数69点
●「県民会議」平成27年度総会 ◎官房長官等への要望(決議文提出)	▼基調講演&シンポジウム「佐渡から江戸文化が見える」(佐渡) 北沢 浮遊選鉱場跡
	▼平成27年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①(佐渡) 赤泊文化会館

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係	
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査	
2015 (H27)	7/13・14		△近藤 誠一氏 (前文化庁長官) 佐渡視察・指導	
	7/28	□国審議会で選定見送り ※「沖ノ島」選定 原案①に対する課題：4項目		
	9/2～12		△「国際産業遺産保存委員会 (TICCIH) 2015総会」参加 (フランス/リール) 鉱山調査 (スペイン)	
	9/12			
	10/7		★重要文化的景観「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」選定	
	10/11		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定 (西三川砂金山跡・大間地区・戸地地区)	
	10/13～15		△パトリック・マーチン氏、クリストファー・ヤング氏 佐渡視察・指導	
	10/17		◆第16回 学術委員会・国際専門家会議⑦	
	10/18			
	11/1			
	11/7			
2016 (H28)	1/31			
	3/15		◆第17回 学術委員会	
	3/29		◇推薦書原案② [2016版] 提出「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	
	3/		★「重要文化財日佐渡鉱山採鉱施設保存活用計画」・「史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画」第Ⅱ期 策定	
	4/1			
	4/5			
	5/17			
	5/20			
	5/25			
	7/25	□国審議会で選定見送り ※「長崎キリシタン」選定 原案②に対する課題：5項目		
	9/10			
	10/1			
	10/22			
10/25～28		△ミッシェル・コット氏、バリー・ギャンプル氏 佐渡視察・指導		
10/29		◆第18回 学術委員会・国際専門家会議⑧		
12/19				
2017 (H29)	2/4			
	2/28		◆第19回 学術委員会	
	3/30		◇推薦書原案③ [2017版] 提出「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」	
	3/31		★「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観保存計画書」刊行	
	4/1			
	4/18			
	5/10			
	5/13			
	5/23			
	5/27			
	6/26			
	7/2～12	■第41回「世界遺産委員会」(参加) (ポーランド/クラクフ) ※「沖ノ島」登録		
	7/19			
	7/31	□国審議会で選定見送り ※「百舌鳥」選定 原案③に対する課題：5項目		
	10/13		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定 (戸地川第二発電所導水路跡)	
10/16		◆第20回 学術委員会		
10/21				
10/28				
12/27		◆第21回 学術委員会		

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲ 県市体制 / ● 県民会議 / ○ 民間団体 ☆ 議員連盟 / ◎ 要望・要請	▼ 講演会・シンポジウム等 / ▽ コンクール・展覧会
	▼平成27年度 佐渡金銀山地域巡回講演会②(佐渡) 相川開発総合センター
	▼世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山の価値を世界へ」(首都圏) イイノホール&カンファレンスセンター
	▼相川 国重要文化的景観選定記念シンポジウム(佐渡) 北沢浮遊選鉱場跡
	▼金の道サミットin佐渡「歴史あるまちなみを活かした地域づくり」(佐渡) あいぼーと佐渡
	▼佐渡金銀山世界遺産セミナー「なるほど!なっとく!佐渡金銀山の魅力発見」(県内) 朱鷺メッセ
○「佐渡を世界遺産にする会」一般社団法人移行	
◎自由民主党幹事長等への要望	
●「県民会議」平成28年度総会	
◎外務省(外務大臣)への要請	
◎官房長官等への要望(決議文提出)	
	▼平成28年度 佐渡金銀山地域巡回講演会①(佐渡) 佐渡奉行所
	▼平成28年度 佐渡金銀山地域巡回講演会②(佐渡) 小木マリンプラザ
	▼世界遺産登録推進講演会「鉱山絵巻に見る佐渡金銀山」(首都圏) 日本科学未来館
	▽「佐渡金銀山フォトコンテスト2016 SADO SHA」 応募期間2016.9～11、応募数246点
	▼世界遺産セミナー「魅力ザクザク!佐渡金銀山の価値を世界へ」(県内) 朱鷺メッセ
▲市：産業観光部世界遺産推進課(部制施行)	
◎官房長官等への要望	
◎日本鉱業協会等への要請	
●「県民会議」平成29年度総会	
◎東京新潟県人会への要請	
	▼佐渡金銀山世界遺産講演会「宝の島 佐渡の魅力を知る」(首都圏) ホテル東京ガーデンパレス
◎文部科学大臣等への要望(決議文提出)	
◎官房長官等への要望	
	▼世界遺産登録推進シンポジウム「佐渡金銀山の価値と魅力を考える」(首都圏) スクワール麹町
	▼平成29年度佐渡金銀山世界遺産講演会「3次元レーザスキャナとインホール駆動型ロボットを用いた佐渡金銀山調査報告」(佐渡) 金井コミュニティセンター

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査
2018 (H30)	2/12		
	3/2		◆第22回 学術委員会
	3/31		◇推薦書原案④ [2018版] 提出「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」 ※構成資産、時期、評価基準変更
	4/22		
	6/15		
	7/2~12	■第42回「世界遺産委員会」(参加) (バーレーン/マナーマ) ※「長崎キリシタン」登録	
	7/17		
	7/19	□国審議会で選定見送り ※「縄文」選定 (最終的に「奄美・沖縄」推薦) 原案④に対する課題：5 項目 ※「縄文」に次ぐ有力な候補となり得る	
	8/30・31		◆第23回 学術委員会・国際専門家会議⑨
	11/1		
11/18			
2019 (H31・R1)	1/18~		
	2/2		
	3/18		◆第24回 学術委員会
	4/1		
	5/8~15		△バリー・ギャンプル氏 石見銀山、佐渡視察・指導
	5/16		◆第25回 学術委員会・国際専門家会議⑩
	5/25		
	6/2		
	6/24~7/4	■第43回「世界遺産委員会」(不参加) (アゼルバイジャン/バクー) ※「百舌鳥」登録	
	7/6		
7/30	□国文化審議会 (「縄文」のみ審議対象) ※引き続き有力な候補となり得る		
10/7・8		◆第26回 学術委員会・国際専門家会議⑪	
2020 (R2)	1/20		
	1/26		
	2/15		
	3/24		★「佐渡市歴史的風致維持向上計画」認定
	3/31		◇推薦書原案⑤ [2020版] 提出「佐渡島(さど)の金山」 ※名称、構成資産、評価基準変更
	3/		★史跡「佐渡金銀山遺跡整備基本計画」策定 ★「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観整備計画」策定
	5/23		
	6/25		
	8/3	□国審議会(選定候補諮問なし) 原案⑤に対する課題： 2項目 ※新型コロナで選定見送り(競合候補なし)	
	10/24		
11/25		◆第27回 学術委員会(リモート開催)	
2021 (R3)	3/10		◆第28回 学術委員会(リモート開催)
	3/31		◇推薦書原案⑥ [2021版] 提出「佐渡島(さど)の金山」
	4/13		
	5/30		
	8/5	◆2021年度推薦候補選定を国審議会へ諮問	
	9/5		
	10/11		★史跡「佐渡金銀山遺跡」追加指定(西五十里道・鶴子道)
	11/15		
12/28	□国審議会で「佐渡」を推薦候補に選定 ※「推薦の決定ではない」とのコメント、競合候補なし		

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲ 県市体制 / ● 県民会議 / ○ 民間団体 ☆ 議員連盟 / ◎ 要望・要請	▼ 講演会・シンポジウム等 / ▽ コンクール・展覧会
	▼世界遺産セミナー「世界に伝えよう!佐渡金銀山の魅力と価値」(県内) 新潟市民プラザ
●「 県民会議 」平成30年度総会 ◎文部科学大臣等への要望(決議文提出)	
◎内閣総理大臣等への要望	
◎名古屋・関西新潟県人会への要請	▼世界遺産セミナー「未来へつなごう!佐渡金銀山の魅力と輝き」(県内) 朱鷺メッセ
●署名活動(ユネスコの推薦を求める署名)開始 主催:県民会議	▼佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会「 鉱山都市相川の風景とその魅力 」(首都圏) 星陵会館
▲市:部制廃止(世界遺産推進課)	
●「 県民会議 」令和元年度総会	▼佐渡金銀山遺跡講演会 第1回(佐渡) きらりうむ佐渡
	▼佐渡金銀山遺跡講演会 第2回(佐渡) きらりうむ佐渡
◎官房長官等への要望(決議文、署名簿提出。約50万筆)	▼佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会「 佐渡の文化と金銀山 」(首都圏) 時事通信ホール ▼佐渡金銀山遺跡講演会 第3回(佐渡) きらりうむ佐渡
●「 県民会議 」令和2年度総会 ※新型コロナウイルス感染症のため中止(書面) ◎官房長官等への要望(決議文提出)	
	▼佐渡金銀山遺跡講演会「 佐渡金銀山遺跡を通じて～地域の文化を慈しみ、わが町を育む～ 」(佐渡) 相川開発総合センター
◎官房長官等への要望 ●「 県民会議 」令和3年度総会 ※リモート	
	▼シンポジウム「 佐渡島の金山 」を世界遺産に(佐渡) アミューズメント佐渡
◎文部科学大臣等への要望(決議文提出)	

年	月/日	ユネスコ、国関係	調査・研究、文化財関係
		■世界遺産委員会 / □国審議会・文化庁	◆学術委員会 / ◇推薦書 / ★指定・選定・計画 △国際会議・専門家指導・鉱山調査
2022 (R4)	1/7		
	1/14		
	1/18		◆第29回 学術委員会 (書面開催)
	2/1	□国、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書提出	
	2/13		
	2/16		
	3/28		
	4/1		
	6/4		
	7/28	ユネスコ、推薦書をイコモスへ未送付 ※書類不備	
9/29	□推薦書暫定版 提出		
2023 (R5)	1/11		
	1/19	□推薦書 (改訂版) 再提出	
	1/21		
	5/27		
	8/24~30	■イコモス現地調査	
	9/10~25	■第45回「世界遺産委員会」(参加) (サウジアラビア/リヤド) ※日本の推薦物件なし	
	9/28		★重要文化的景観「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」追加選定
10/18・19			
2024 (R6)	1/28		
	6/6	■イコモス「情報照会」を勧告	
	6/18		
	6/22		
	7/21~31	■第46回「世界遺産委員会」(参加) (インド/ニューデリー) ※登録決定 (7/27)	
	9/10		◆第30回 学術委員会 (最終)
	9/27		
	11/		
12/16			

推進体制、支援団体、要望・要請関係	普及・啓発関係
▲県市体制 / ●県民会議 / ○民間団体 ☆議員連盟 / ◎要望・要請	▼講演会・シンポジウム等 / ▽コンクール・展覧会
◎文部科学大臣への要望	
▲「新潟県市長会」総会で佐渡金銀山の早期推薦を求める決議を採択	
◎「保守団結の会」等への要望	
●「県民会議」署名活動終了 ※推薦実現による	
	▼佐渡金銀山世界遺産登録推進講演会(県内) 「日本史を動かした佐渡金銀山」 新潟市民プラザ
▲県：庁内「世界遺産登録推進WT」設置	
※副知事、教育長、政策統括官、文化行政課長ほか	
☆「佐渡金銀山の世界遺産登録を実現する議員連盟」(国議連2) 設立	
会長：中曽根 弘文	
▲県：観光文化スポーツ部文化課世界遺産登録推進室(知事部局移管)	
▲市：観光振興部世界遺産推進課(部制施行)	
●「県民会議」令和4年度総会	
☆自由民主党「佐渡島の金山世界遺産登録実現PT」(国PT) 設置	座
長：橘 慶一郎	
	▼「佐渡島の金山」首都圏講座「甲斐・石見から佐渡へ」(首都圏) 東京新潟県人会館 2階 ホール
●「県民会議」令和5年度総会	
◎外務大臣・文部科学大臣・官房副長官への要望	
	▼「金の道」フォーラム「鉱山と世界遺産－佐渡との比較において－」 (首都圏) 東京交通会館
◎官房長官・外務大臣・文部科学大臣への要望	
●「県民会議」令和6年度総会	
	▼「金の道」フォーラム「世界が認めた佐渡金銀山－江戸幕府を支えた 宝の山」(首都圏) 有楽町朝日ホール
	▽市：新ロゴマーク公募(11～12月)
☆「佐渡島の金山」世界文化遺産を支援する議員連盟(国議連3)設立	
会長：中曽根 弘文	